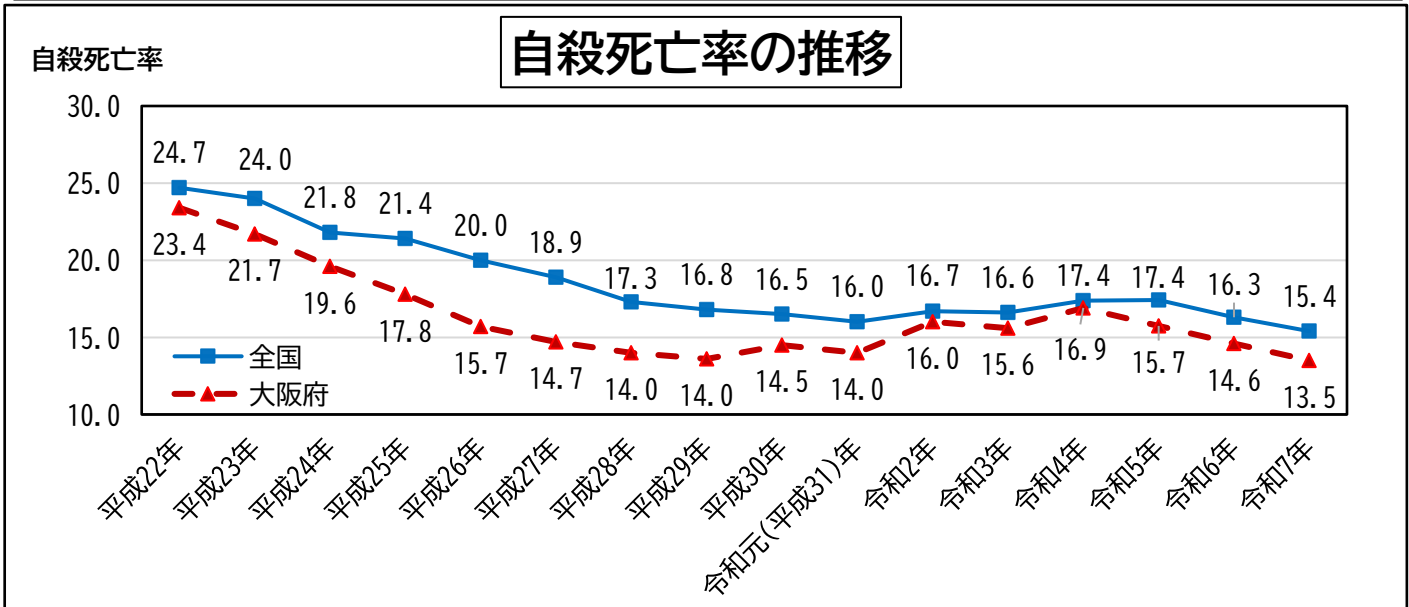
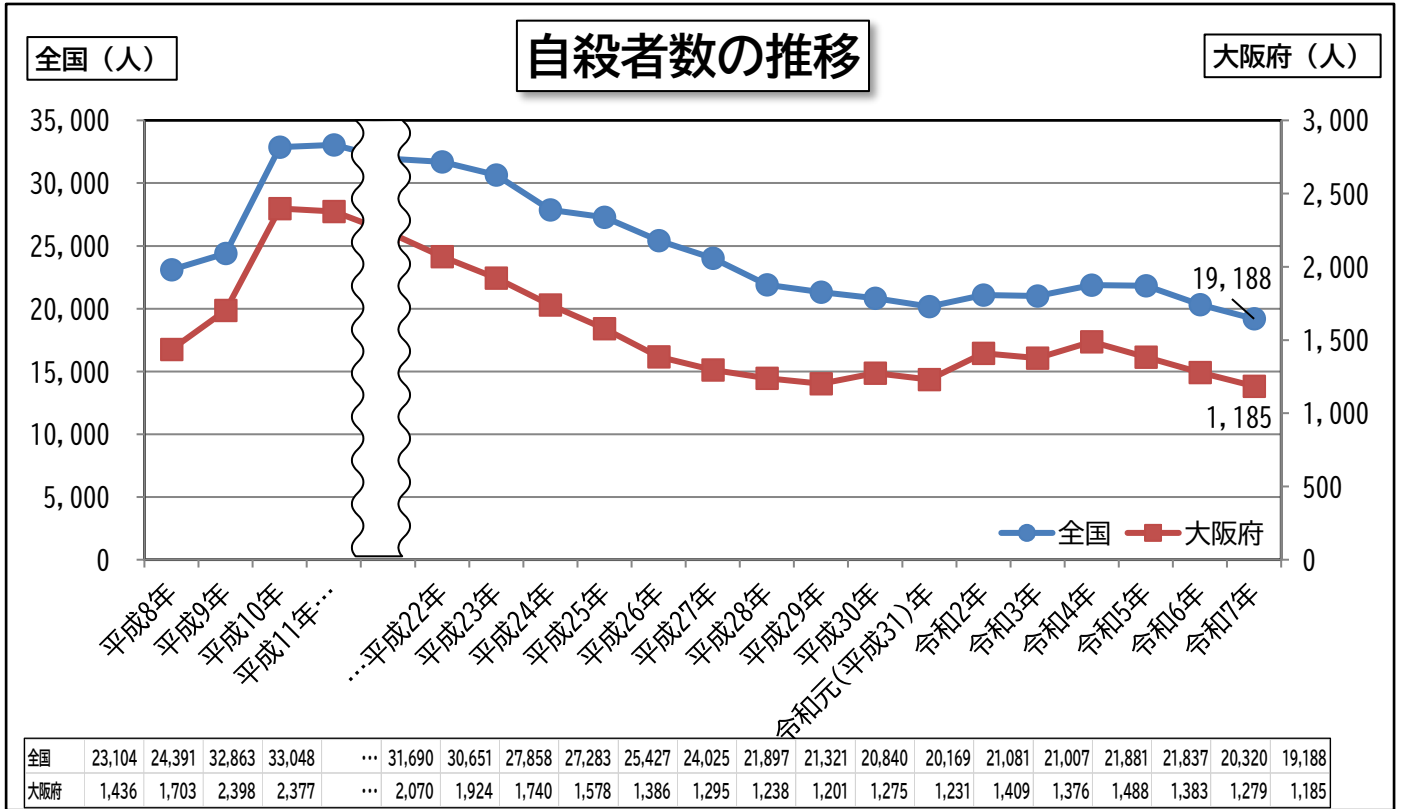


大阪府の自殺の概要 < 令和7年 >

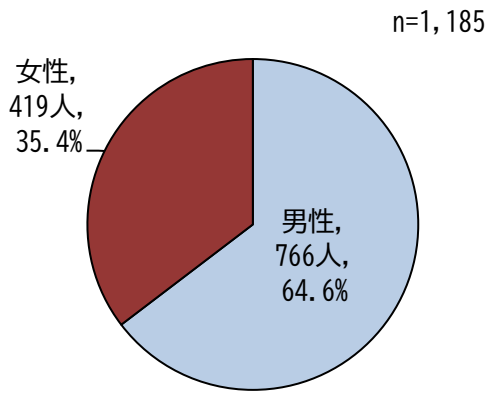


出典：厚生労働省自殺対策推進室作成地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地 ※警察庁の自殺統計

全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年以降3万人を下回っています。令和2年に11年ぶりに増加した後、令和4年からは減少しており、令和7年は19,188人でした。

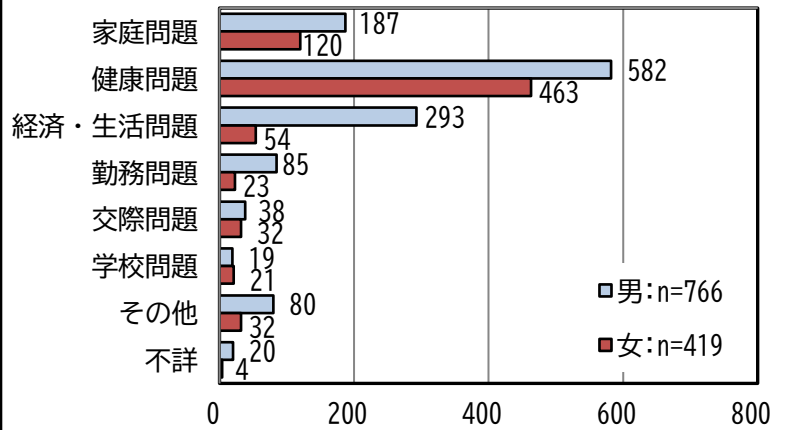
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年に2千人を下回りました。令和2年に増加した後、令和4年からは減少傾向となっていますが、令和7年は1,185人で、1日に約3人の方が亡くなられている状況です。大阪府の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、令和7年で13.5となっています。

令和7年・男女別自殺者数



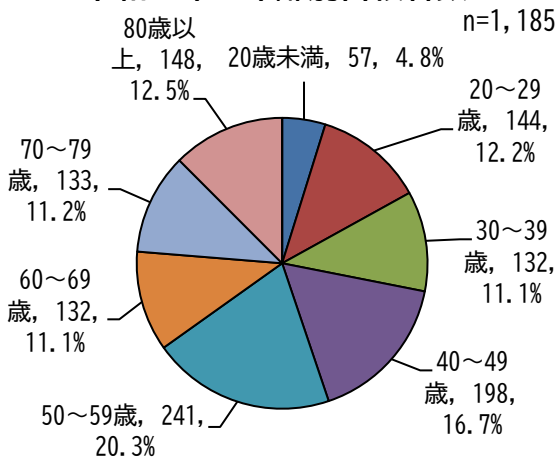
男女別自殺者数は、男性が766人(64.6%)、女性が419人(35.4%)となっており、依然として男性が女性より多くなっています。

令和7年・男女別原因・動機別自殺者数 (複数回答2,053)



令和4年からは、家族の証言等から原因・動機を4項目まで計上することが可能になりました。男性、女性ともに、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」が上位を占めています。

令和7年・年齢別自殺者数

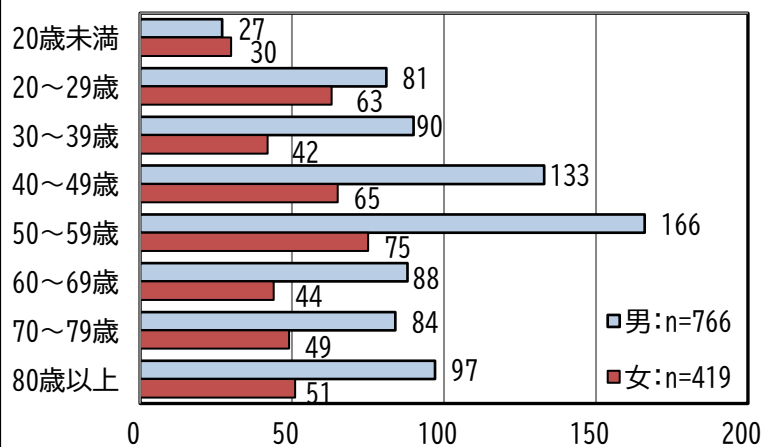


年齢別自殺者数は、「50~59歳」が241人(20.3%)と最も多く、次いで「40~49歳」が198人(16.7%)、「80歳以上」が148人(12.5%)と続いています。

また、39歳以下の若年層の自殺者数は333人(28.1%)で、全体の約4分の1を占めています。

60歳以上の高齢者の自殺者数は413人(34.9%)でした。

令和7年・男女別年齢別自殺者数

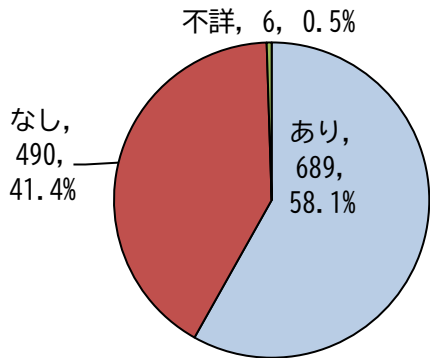


男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50~59歳」166人(21.7%)が最も多く、「40~49歳」133人(17.4%)が続いています。

女性は「50~59歳」75人(17.9%)が最も多く、次いで「40~49歳」65人(15.5%)となっています。

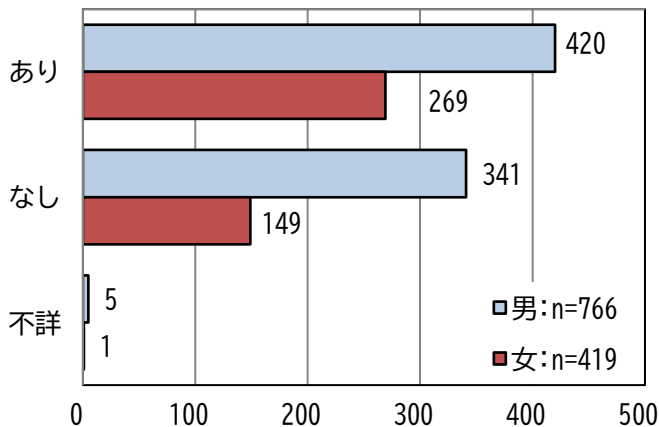
令和7年・同居人の有無

n=1,185



同居人の有無では、「同居人あり」が689人(58.1%)、「同居人なし」が490人(41.4%)となっています。

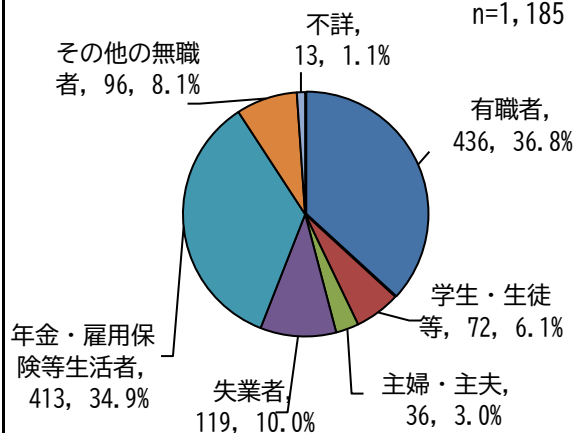
令和7年・男女別同居人の有無



男女別の同居人の有無では、男性420人(54.8%)、女性269人(64.2%)が「同居人あり」で、女性の方が「同居人あり」の割合が多くなっています。

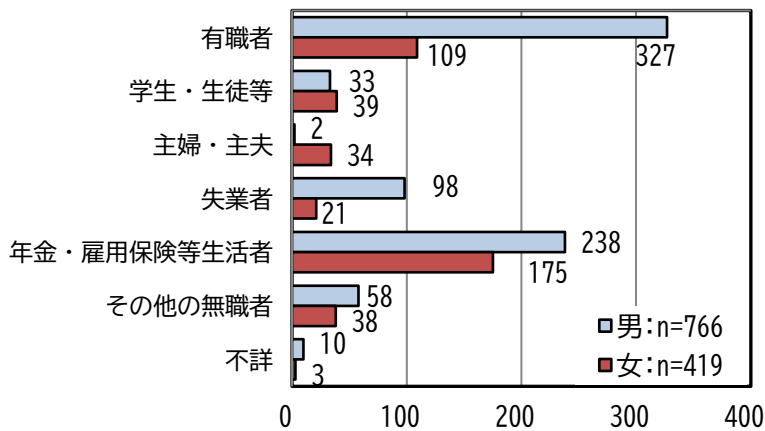
令和7年・職業別自殺者数

n=1,185



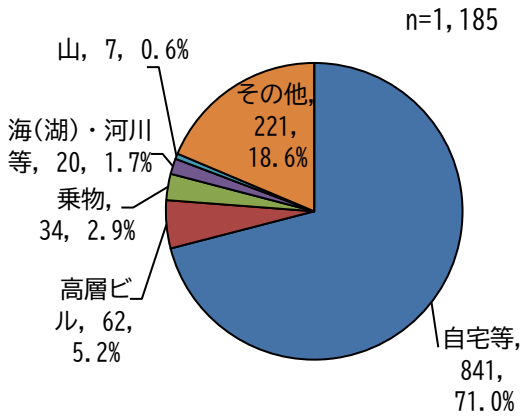
職業別自殺者数の割合は、「有職者」が436人(36.8%)と最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が413人(34.9%)となっています。「学生・生徒等」は、72人(6.1%)です。

令和7年・男女別職業別自殺者数



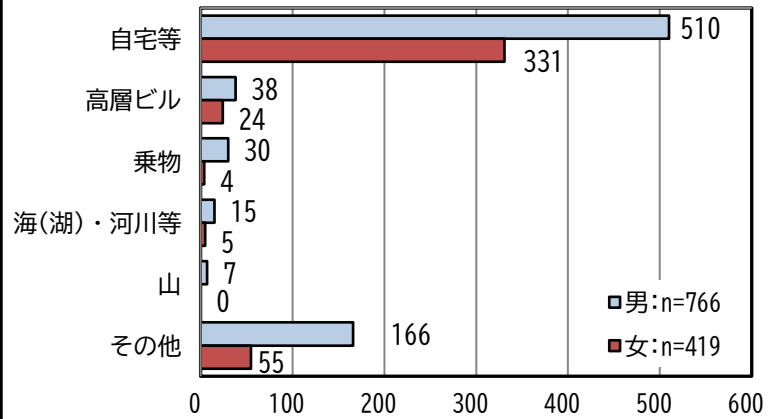
男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「有職者」が327人(42.7%)で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が238人(31.1%)となっています。女性は、「年金・雇用保険等生活者」が175人(41.8%)で最も多く、「有職者」が109人(26.0%)で続いています。

令和7年・場所別自殺者数



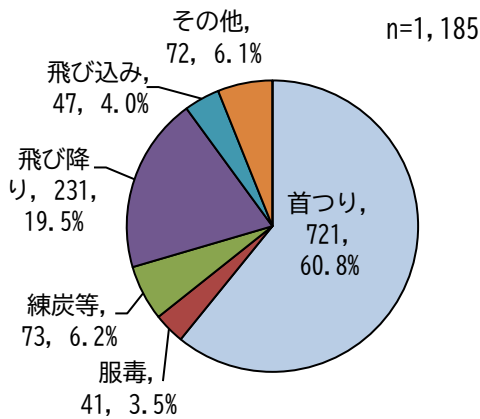
場所別自殺者数では、「自宅等」が841人(71.0%)と約7割を占めています。「その他」を除くと、次に「高層ビル」が62人(5.2%)となっています。

令和7年・男女別場所別自殺者数



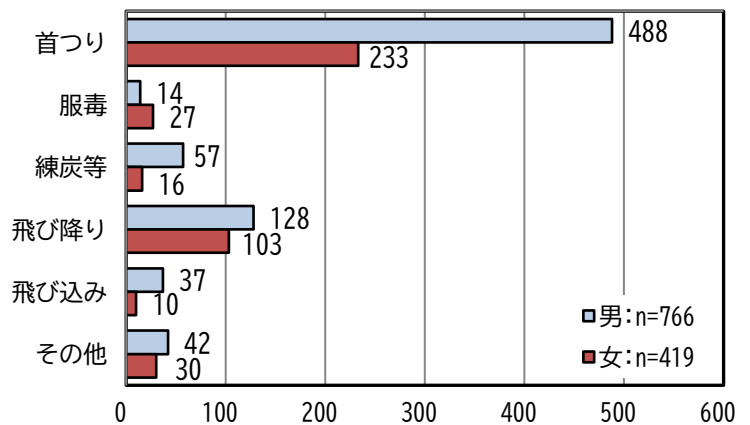
男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が最も多く、「その他」を除くと、次いで「高層ビル」が多くなっています。「自宅等」が男性510人(66.6%)、女性331人(79.0%)で、「高層ビル」が男性38人(5.0%)、女性24人(5.7%)です。

令和7年・手段別自殺者数

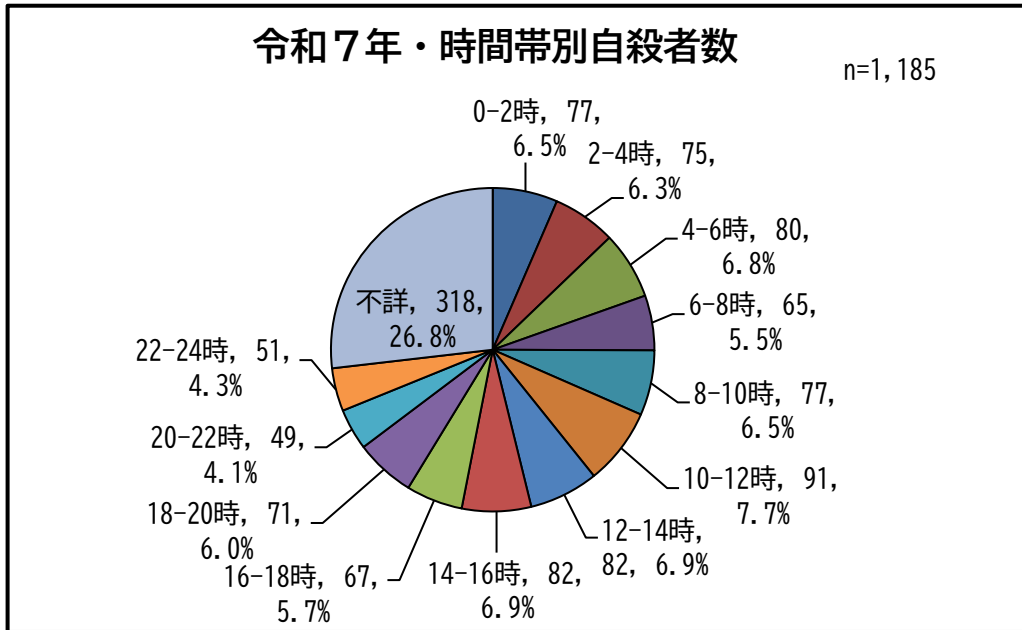


手段別自殺者数では「首つり」が721人(60.8%)と約6割を占めています。次いで「飛び降り」が231人(19.5%)となっています。

令和7年・男女別手段別自殺者数

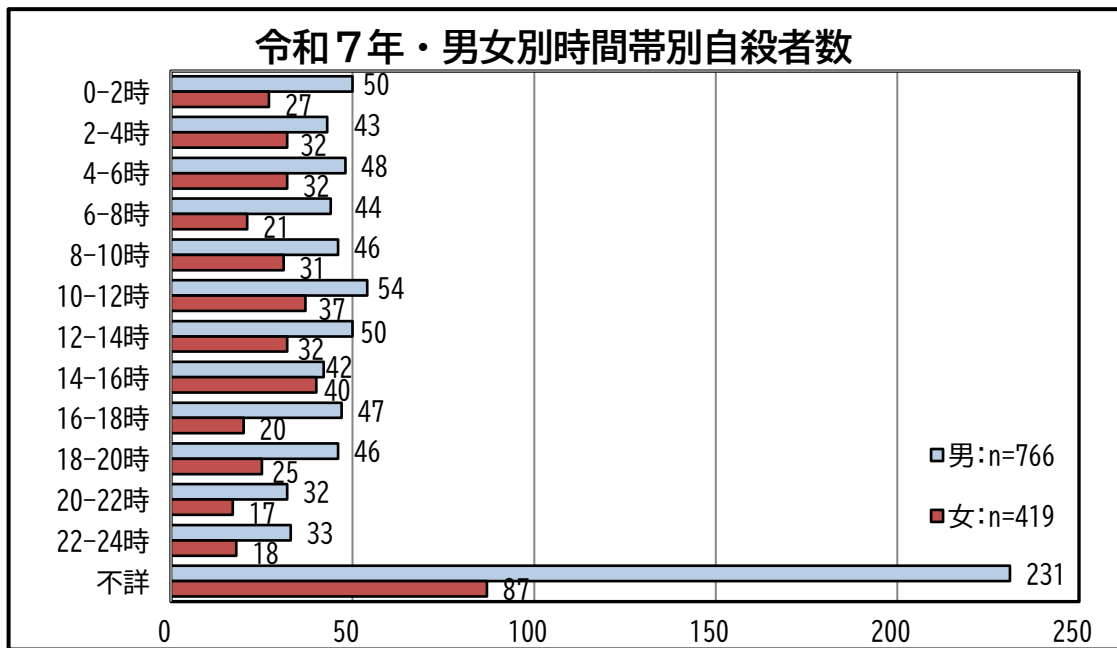


男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛び降り」が多くなっています。「首つり」は男性488人(63.7%)、女性233人(55.6%)で、「飛び降り」は男性128人(16.7%)、女性103人(24.6%)です。



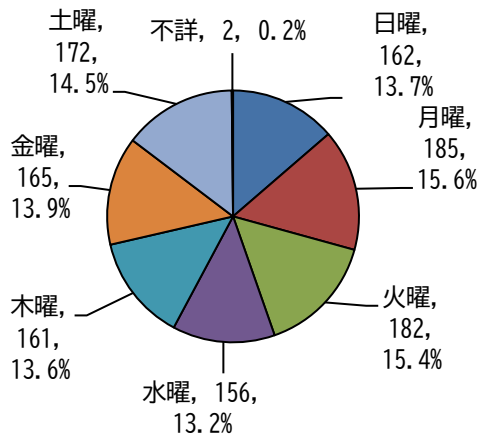
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「10～12時」の91人（7.7%）、次いで「12時～14時」と「14時～16時」の各82人（6.9%）となっています。

少ない時間帯は「20時～22時」で49人（4.1%）となっています。



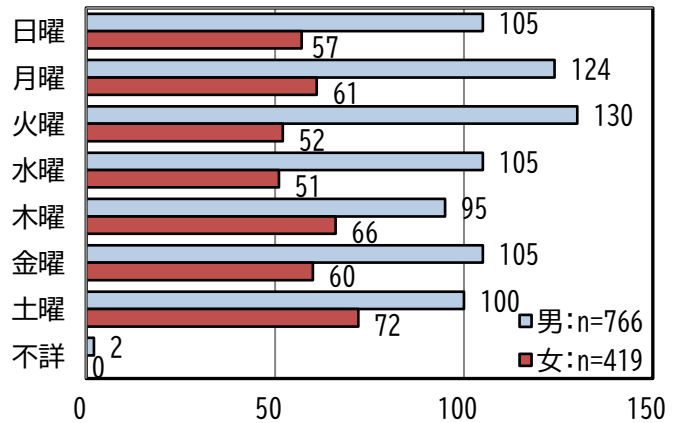
男女別の時間帯別自殺者数については、「不詳」を除くと、男性では「10～12時」が54人（7.0%）、女性では「14時～16時」が40人（9.5%）で最も多くなっています。

令和7年・曜日別自殺者数 n=1,185



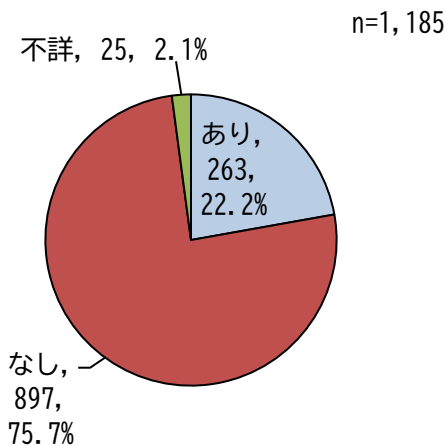
曜日別自殺者数の割合は、「不詳」を除くと、「月曜日」の185人（15.6%）が最も多く、「水曜日」の156人（13.2%）が少なくなっています。

令和7年・男女別曜日別自殺者数



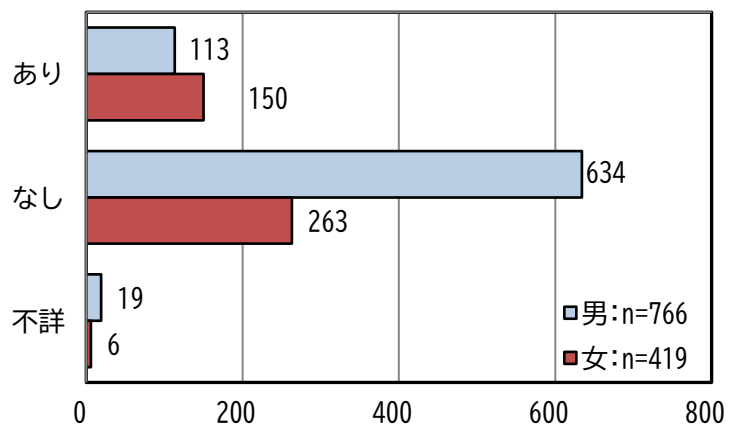
男女別の曜日別自殺者数では、「不詳」を除くと、男性は「火曜日」の130人（17.0%）が最も多く、「月曜日」の124人（16.2%）が続いています。女性は「土曜日」の72人（17.2%）が最も多く、「木曜日」の66人（15.8%）が続いています。

令和7年・自殺未遂歴の有無 n=1,185



自殺未遂歴の有無では、「あり」は263人（22.2%）で約2割を占めています。「なし」は897人（75.7%）となっています。

令和7年・男女別自殺未遂歴の有無



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は113人（14.8%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は150人（35.8%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性より多くなっています。